

大久野島

瀬戸内海に浮かぶ周囲 4 キロの大久野島には、およそ 1000 匹の野ウサギが生息しています。ウサギを保護するため、島へのペットの同伴はご遠慮ください。彼らは野生ですが、ウサギはしばしば食べ物を受け取ることを期待して訪問者に近づきます。大久野島はうさぎ島として知られるようになりました。ツタに覆われた古い要塞の廃墟は、島の歴史を物語っています。大久野島は何世紀にもわたって平和に農漁業を支えてきましたが、日清戦争（1894–1895）と日露戦争（1904–1905）の間、瀬戸内海周辺を保護するために島は強化されました。この間に、島には 3 つの砲台が建設されました。

1929 年、大日本帝国陸軍は大久野島に化学の研究と生産のための秘密の軍事施設を建設しました。島は本土から隠され、東京から遠く離れた人里離れた場所選ばれました。1932 年に、軍はその場所を隠すために地図からそれを消去しました。

第二次世界大戦後、大久野島は、景勝地や国立公園内に設立された全国の休暇村のチェーンの 1 つである九州国立公園リゾートに発展しました。訪問者は、サイクリング、テニス、キャンプ、水泳、ハイキングなどのアウトドアアクティビティを楽しむことができます。また、近くの島々や海へのクルーズもあります。人気のアクティビティは、自転車を借りて島を完全に探索することです。ゆっくりとしたペースで島を一周するのに約 30 分かかります。

港の近くにあるビジターセンターには、ガラスの床の下に島の大きなモデルが展示されており、観光地やハイキングコースに関する情報が掲載されています。島で見つかった動植物の詳細を展示した展示もあります。ビジターセンターでは、地元の工芸品を体験もできます。

また大久野島は、高さ 226 メートルの日本で最も高い送電鉄塔を持っています。送電鉄塔は、四国と本州を結ぶ大三島支線の一部です。島の南端には海の景色を望む灯台があります。

1950 年、大久野島は 1934 年に日本で最初に設立された国立公園の 1 つである瀬戸内海国立公園の一部になりました。瀬戸内海国立公園は 11 県にまたがり、海を含む約 90 万ヘクタールに及ぶ日本最大の国立公園です。大久野島は竹原港からフェリーで約 20 分。忠海、盛、三原の各港のフェリーターミナルから大久野島にアクセスすることもできます。